

第5回 港中学校・築港中学校 学校適正配置検討会議

1 日時 令和7年6月2日（月） 19時00分から19時58分

2 場所 港中学校 多目的室

3 出席者

（委員）

森岡委員、堀川委員、黒川委員、柚友委員、福原委員、安本委員、村上委員、村田委員、細川委員、宮本委員、芝寄委員、有田委員、新田委員、阪上委員、齊藤委員、石井委員

（学校）

北川港中学校長、西村築港中学校長

（教育委員会事務局）

山口港区担当教育次長、磯村港区教育担当部長、港区教育担当課長、
港区教育担当課長代理、学校適正配置担当課長、
学校適正配置担当課長代理、教育政策課指導主事

4 議題

- (1) 新しい中学校の校名案の検討について
- (2) 通学の負担軽減策の検討について
- (3) 今後のスケジュールについて
- (4) その他

5 会議資料

- ・ 次第
- ・ 資料1 【事前配付】校名案の候補の絞り込み結果（あいうえお順）
- ・ 資料2 新しい中学校の校名案の投票について（案）
- ・ 資料3 中学校の学校適正配置の基準等について
- ・ 資料4 児童生徒に対する公共交通機関利用に係る無料乗車証交付要綱
- ・ 資料5 【参考】築港小校区から新しい中学校までの通学距離の例
- ・ 資料6 「通学の負担軽減策」について、専門部会メンバーへの意向確認結果
- ・ 資料7 令和7年度 港区学校再編関係スケジュール（案）

6 議事要旨

(1) 議題1について事務局から説明

資料2に基づいて新しい中学校の校名案の投票について説明を行った。

(2) (1)についての意見等の概要

(委員)

やり方は30件全部よりある程度絞った、案の1がいいと思います。参考までに、この対象となる4校の小学校5・6年生の児童数、投票の母数みたいなのを教えていただきたい。あと投票を行う際には、このふりがな、漢字とかも全部列挙したかたちでやろうと考えられているのかお教えいただければと思います。

(司会)

投票は、今お配りしておりますような資料を児童に見せ説明をしたうえで、読み方で選んで投票してもらう形を考えております。資料を持ち帰るのではなく、その場で説明して投票いただくかなと考えています。

(委員)

子どもに選ばすと「自分らで選んだ」と喜ぶやろうし、ええんやないですかね。

(委員)

学校の担任の先生それぞれに言い方も変わってくると思いますし、先生が説明されときのシナリオを区役所で書くなど、公平にする形を検討してもらえたらと思います。

(司会)

ご提案ありがとうございます。投票には、子どもたちへの伝え方を統一するシナリオを区役所で作成するか、区役所から学校に直接行かせていただきます。

(教育担当課長)

児童数ですけれども、八幡屋小学校はおおむね50、築港小学校は40弱、港晴小学校は50弱、池島小学校は30ちょっと、こういった数字でございます。

(委員)

この校名の募集をかけた時に、今の在校生も考えてくれたんですね。なので、私としては、何らかの在校生が携わってくれたら嬉しいなという気持ちです。

(司会)

校名を募集した時は、地域の方も含めて、中学校の生徒、小学校の児童も対象としました。その最初の募集の結果、やはり在校生は今通われている学校の名前を多く書かれ、新しい学校にふさわしい名前を考えるなかでは、現在の校名への愛着が強い在校生より今後新たに入ってくる方をお願いしてはどうか、とのご提案で絞らせていただきました。

よろしければ、事務局提案の案の1、7件のグループで5・6年生の児童での投票、これを早急に実施していくというような案でどうでしょうか。

(複数の委員)

いいんじゃないでしょうか。異議なし。

(司会) ありがとうございます。それではまた随時報告させていただきます。

(3) 議題2について事務局から説明

資料3～5に基づいて通学の負担軽減策について説明を行った。

(4) (3)についての意見等の概要

(委員)

築港地域からの通学距離を見ると、ほぼ2 km以内に入っているんですけど、2 kmを超える子どもってたくさんいるんですか。検討が必要でしょうか。

(司会)

今回学校再編によって校区が広がり、今まで1 km強ぐらいまでの校区が、ほとんど倍ぐらいになりますし、また天保山運河を越える橋もあります。その通学の負担軽減について住民説明会等でもご意見をたくさんいただいてきましたので、教育委員会で検討したところでございます。

(委員)

最初は、自転車通学が許可されたほうがいいと思っていましたが、実際の通学路になる道、非常に危ないです。広い道以外にも裏道通って行けますけど交差点だらけです。それと1番危ないのは、昔の臨港鉄道が走っていた道路で、大きなトラックやトレーラーが走っています。無料乗車証いただけるのであれば、ぜひ子どもの安全を守るためにお願いしたいです。通学距離が2 km未満のエリアもありますけれども、この築港小学校区みな適用範囲にするという英断をしてもらえないかなと思います。

(教育担当課長)

少し補足させていただきます。昨年度に教育委員会がこの指針の改正をしているんですけども、単純に3 kmから2 kmに変わったのではなくて、この「2 km」は「学校再編に関わる」という条件が付きます。そのうえで、さきほど委員から、築港1～4丁目、全て含めて一体で考えていただけないかのご意見いただき、この検討会議の皆さんの総意ということでしたら、教育委員会にも、おおむね2 kmという、この「おおむね」という言葉でもって、働きかけていく余地があるのかなと考えているところです。公共交通機関か自転車か、については「これにより難しい事情があるときには」というところではじめて自転車が出てまいりますので、原則無料乗車証の交付ということには変わりません。

(学校適正配置担当課長)

教育委員会としても、この指針の改正にあたり、議論を重ねました。自転車通学が全市的に今認められていない状況で、学校再編で通学距離が長くなるため、負担軽減策を検討すべき、とのご意見があり整備いたしました。やはり教育委員会として、ご意見のとおり「安全」が最優先ですので、自転車事故の状況も見ながら意見を交わし、整備しました。安全性の観点から第一優先は公共交通機関の利用としております。それにより難しい場合、スクールバスの運行、自転車の利用という優先順位で、指針を改正しました。また、適用範囲につきましては2 km超えとなる生徒としておりますので、本日のご意見や、区役所のご意見をおうかがいし、今後、適用範囲について検討してまいりたいと考えております。

(委員)

通学について築港の方を全面的に公共交通機関でというのは、安全面も考えて大賛成。ただ、放課後の部活動の拠点校方式って今自転車認めていますよね。それで、築港地域の子どもが新中学校に来

て、市岡のラグビー部に行くときに、公共機関で移動する、無料乗車証があるから弁天町まで行って、市岡へ行こうかみたいなかたちになるんですか。

(司会)

区間があるんです。無料乗車証は。

(港中学校長)

今年度から部活動の拠点校方式化を進めており、港区の校長会で決定した事項として、港区内の中学生が自校に自転車で、または自校から市岡、港南に自転車に乗って放課後部活動に行くということが許可されています。今後、ここに学校再編が加わって、自転車の取り扱いを検討していくこととなりますが、今の時点では、自校に通学をしてくる生徒は学校に来るまでは自転車を押してくるのが、大前提なんです。自校から拠点校に部活動に行く際と、拠点校から家に帰るまでは自転車を使っても良いよと。今後学校再編で自転車が許可された場合は、そこに該当する子どもたちであれば、自転車に乗って学校に来ることは許可をしても良いのかなと思っております。こちらについては今後議論を深めないといけませんが、現状を考えるとそんなところが妥当ではないかなと思っております。

(司会)

部活動の拠点校方式化も含め、今後議論をしていくことになろうかと思えます。

(委員)

公共交通機関はシティバスかメトロのどちらか1つを選ぶわけですね。どちらもということはない。

(司会)

はい、どちらかになるかと思えます。区間指定になるかと思えます。

(委員)

何らかの事情があって、自転車を希望される子どもさんは自転車で行けるということですね。

(司会)

まだ大阪市で、自転車の制度が導入されていけませんので、港区が初めて導入するのであれば区役所と学校で話し合って要綱をつくり、試験的に導入していくことになると思えます。

(委員)

教育委員会に要望ですけれど、大昔は南港へ行くトンネルがなく築港は行き止まりでした。トンネルができた1997年以来、南港へ行くトレーラーとかトラックはほとんど、ここを通るので交通量が増えたんです。あわせて海遊館もオープンし、バスもたくさん通ります。この事情も考えていただけたらと思えます。

(学校適正配置担当課長)

道路事情とかそういったところも含めて検討を進めていきたいと思えます。

(委員)

学校に通う時間帯で数十人がバスを使用するわけだから、今通勤とかでバスを使用している人にも、何か影響が出てくるんじゃないかな。その辺は調査する必要があると思えます。

(司会)

バス等公共交通機関の事情も調べたいと思えます。こちらの議論は、次回以降も検討課題とします。

今日は、通学の負担軽減策の適用範囲について、築港の1～4丁目全部含めて適用していくべきだというご意見を皆様からいただきました。自転車の取り扱いについては引き続き、議論をしていきたいと思います。

(5) 議題3について事務局から説明

資料7に基づいて今後のスケジュール案について説明を行った。

(6) (5)についての意見等の概要

(委員)

築港地域の中で話しているときに、校名は決めるとしても、校章とかは新しい学校ができてから皆でつくったほうがはやいんじゃないかという意見もあったんです。一方で、新しい学校ができたそんな時に、校章や校歌をつくるのは難しいのかなとも思うんです。そのあたりの学校の事情を教えていただけたら。

(築港中学校長)

確かに、新しい学校が始まってから校歌や校章をつくったり、開校式のお披露目しているところも見たことがありますけれども、実際新しい学校が動き出したときに校章や校歌がないというのもどうだろうかと思うので、決まっているほうが学校としては動きやすいかなと思います。

(司会)

スケジュールが許す限り取り組んでいき、事情があれば遅くなることもあると思います。

全体を通して、何かよろしいでしょうか。議事はこれにて終了でございます。

以上で会議を終了いたします。本日はお忙しいなかありがとうございました。